

**『看護師主体で行うICUでの鎮静・鎮痛プロトコル導入後の評価』
に対するご協力のお願い**

研究の目的と意義	ICUでは重症な患者さんに対し、長期期間、人工呼吸器を使用した経口挿管管理が必要となる時があります。その際に必要となる、鎮静・鎮痛評価はそれぞれ RASS、CPOTを用いて評価しています。鎮静・鎮痛管理については、先行研究において、医師の指示の基で、看護師主導で行うことにより、患者さんの転帰の改善に寄与したという報告があります。そのため、当院ICUにおいても鎮静・鎮痛管理を行うプロトコルの導入に至りました。今回はその導入後のプロトコルの内容の妥当性、システムとしての運用方法の妥当性を評価するために、本研究を実施致します。
研究の方法	ICUに予定外入室された患者さんで、経口挿管管理にて人工呼吸器を使用した方を対象に、カルテレビューを後方視察的に実施します。
対象者	西暦2020年4月1日～2023年3月31日の間に、ICUに入院されていた方
利用する試料/情報	年齢、性別、入室時のAPACHE II スコア、入室時のSOFAスコア、ICU在室日数、転帰、端坐位・立位開始日数、せん妄発生の有無、身体拘束の実施の有無、
利用する試料/情報の取得方法	診療録
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	第51回日本集中治療医学会学術集会にて発表予定
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、西暦2024年1月31日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 ICU/看護師/菊川 杏理
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 ICU/菊川 杏理